

「新卒で下川へ。
仕事と暮らしを自分なりに満喫中 / 小倉 三桜雪さん

下川でのリアルな暮らしぶりを町内の方にお話ししていただくコーナー。今月は新卒で下川小学校に赴任し、バンド活動も楽しみながら暮らす小倉三桜雪さんです。

札幌出身ですが、いろいろな場所を転々としながら育ちました。下川町へ来たきっかけは、以前下川小学校の校長先生をされていた井川先生からの連絡です。実は井川先生は、私が通っていた小学校の元教頭先生で、私のことを覚えていてくれたんです。「先生になって聞いていただけ下川町に来ないかい？」と数年ぶりに連絡をしてくださいました。下川町のことは、それまで聞いたことも行っただけだったので、電話をいっただいからすぐ下川町のことを調べました。ネットなどで出ている記事や写真を見て「楽しそうな町だな」と感じ、数日後に井川先生からもう一度連絡をいただいた時に「ぜひ行きたいです」とお返事しました。だから一度も下川町に下見をせずに引っ越してきたんです。新しい知識や経験を得ることが好きだから、不安もあまりありませんでした。現在は特別支援の知的学級の1年生と6年生を担当しています。みんな素直で、人懐っこいなと感じます。

職場以外では「モーリーズ」に参加して、イベントなどで演奏しています。「モーリーズ」ではドラム、「WATAME」ではギター

とボーカルを務めています。フレペで月に1回開催されている「とんちんかん楽団」という大人や子どもが気軽に楽器に触れられるイベントに参加したのがきっかけで、声をかけてもらいました。実は下川に来るまで一度もギターもドラムもやったことがなかったんですが、赴任してからは自分の時間ができて、ずっと興味があったギターを始めました。さらに先輩の先生が異動するタイミングに、エレキギターを譲り受けて。その話を「とんちんかん楽団」のイベントの時に話したら、音楽をやっている町内の方々と、どんどんつながっていききました。歌うことも好きだったから、バンドを始めることになった際、参加することになったんです。



す。メンバーの年齢層が幅広いので、今後は少し古い曲にも挑戦したいですね。

休みの日は、バンドの練習をしたり図書室や五味温泉に行ったりすることが多いです。小さな町なので、お店や道端でばったり保護者の方々と会うこともありませんが、私自身はあまり気にしません。むしろ知っている方を見かけたら声をかけたいくらいですし、声をかけてくださるのも嬉しいです。下川町では一度誰かとながると、どんどんその輪が広がって仲良くなりやすいなと感じます。

小学校の教員は異動があるため数年で別の町へ引っ越す必要がありますが、もし下川町を離れても仲良くなった方々にはまた会いたいし、会いに来たいと思っています。



《空き家対策の紹介》
しもかわ財団の3つの行動指針の「つなぎ」の事業である空き家対策事業についてご紹介します。

《取り組みについて》

しもかわ財団では慢性的な住宅不足の緩和や移住定住の促進を図るため、空き家対策の取り組みを進めています。

主な業務としては、空き家所有者と購入希望者の相談対応、空き家バンクへの登録、マッチング、手続きの事務サポート（補助金申請・契約・登記申請）、片付けやリフォームの見積り依頼を地域の業者へつなぎ、スムーズな引継ぎのための調整を行っています。

また、昨今の課題として、ペットと同居可能な賃貸物件の需要が多くあり、多様化するニーズに対応し、物件が不足しているま

《空き家バンクの運営・管理》
空き家バンクの登録は空き家所有者自身や家族からの依頼を基に活用可能な建物や土地の登録を行っています。

住宅取得の際には主に左記の2つの補助金があり、町民生活課と連携し進めています。

補助事業名	内容	補助率等
空き家対策総合支援事業	建物代と100万円以上の改修費	2/3補助 (限度額500万円)
快適住まいづくり促進事業	建物代	1/5補助 (限度額150万円)
	省エネ改修を含む改修費	1/5補助 (限度額100万円)

また、空き家バンクのサイトは、次のQRコードから閲覧できます。



今後も利用可能な物件のスムーズな引き継ぎができるようサポートさせていただきます。

公区での見守りやご家族からの情報をお待ちしています。

『持ち家の相談会』や『空き家の見学会』も随時開催しています。お気軽にご利用ください。

*空き家対策業務で取り扱う個人情報については、個人情報保護に関する法律等に基づき適正に取り扱います。

しもかわ財団の活動紹介
つなぎ・ささえ・つくる

■お問い合わせ
総務企画課 企画調整係
☎412511 内線232 ☆41251102
しもかわ地域振興機構(通称:しもかわ財団) 空き家対策担当
☎512770

